



上田高等学校関東同窓会 第63回総会・講演会

2024年6月29日(土) 於：神田一ツ橋 如水会館



76期 久保田利幸氏醸造のワインエチケット(ラベル)、烏帽子岳をモチーフにしています。
懇親会にご提供いただきましたので是非ご試飲ください。

(お問合せ先 → 090-1403-3806、jly301959@icloud.com)

上田高等学校関東同窓会 執行部・総会実行委員会

第63回 総会・講演会 次第

第1部 講演会 (オリオンルーム) 12:00~12:50

開 会 の 辞 司会 金井 一正 (76期)
講 演 日本エネルギー経済研究所専務理事・主席研究員
小山 堅様 (76期)
演題：「激動の内外エネルギー情勢をどう見るか」

第2部 総 会 (オリオンルーム) 13:00~13:45

開 会 の 辞 司会 金井 一正 (76期)
会 長 挨拶 会長 矢島 基美 (72期)
来 賓 紹介 司会
来 賓 挨拶 上田高等学校同窓会理事長 金子 元昭様 (68期)
議 長 選 出 司会
議 事 第1号議案 2023年度会務報告(案) 幹事長 平林 一央 (75期)
第2号議案 2023年度決算報告(案) 会計長 長坂 武見 (72期)
第3号議案 2023年度監査報告 監事 古畑 克巳 (69期)
審 議・採 決
第4号議案 2024年度会務計画(案) 幹事長
第5号議案 2024年度予算(案) 会計長
審 議・採 決
議 事 終 了 議長
閉 会 の 辞 司会

第3部 アトラクション (スターホール) 14:00~14:45

開 会 の 辞	司会	横関 正人	(81期)
太 神 楽		鏡味 正二郎氏	
落 語		立川 談慶師匠	
閉 会 の 辞	司会		

第4部 懇親会 (スターホール) 15:00~16:30

開 会 の 辞	司会	横関 正人	(81期)
開 宴 の 挨 拶	実行委員長	鵜澤 省一	(76期)
来 賓 挨 拶	上田高等学校学校長	宮下 美和様	(84期)
乾 杯	関西同窓会会長	荻原 靖様	(74期)
第64回総会実行		丸山 剛生	(77期)
委 員 期 挨 拶			
閉 会 の 辞	副実行委員長	横関 正人	(81期)

第 6 3 回総会 議案書

第 1 号議案：2023 年度会務報告（案）（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

1. 全般

コロナ禍が漸く終息し以前の形式での同窓会活動に戻すことができた。一部はコロナ対策で習得したりリモート会議を取り入れ、予定された行事、会議は全て実施することができた。

2. 第 62 回総会・講演会・懇親会

2023 年 6 月 24 日如水会館にて開催。75 期を中心とした実行委員が運営を担当。コロナ禍以前の形式で開催し、来賓を含めて 193 名が参加した。金吉晴さん（75 期）の講演、母校吹奏楽班の演奏会、4 年ぶりの立食形式の食事会（懇親会）を行い、最後に校歌を高らかに斉唱した。

3. 2024 年新年会

2024 年 1 月 20 日喜山倶楽部（日本教育会館）にて開催。小林公哉さん（115 期）のビブラフォンとスネアドラムの演奏会を楽しんだ。引き続き、立食形式の食事会（懇親会）を行った。参加者 76 名。

4. 諸活動

- ・ゴルフコンペを 10 月 25 日（第 40 回記念大会、小金井 CC）に開催。
- ・名画貸切鑑賞会（銀座試写室 TCC シアターにて「ひまわり」と食事会を 7 月 8 日に開催。参加者 17 名。
- ・赤松小三郎研究会の講演会を 11 月 26 日に開催。参加者 103 名。
- ・女性同窓生の会（昼食会）を 3 月 30 日に開催。参加者 13 名。

5. 会報

5 月下旬に第 106 号、12 月下旬に第 107 号を発行した。

6. 年会費納入状況

年会費納入キャンペーンを実施し、2,542,000 円で予算比 102%と予算を達成した。（前年比 98%）

7. 基金活用事業

300,000 円繰り入れ予算に対して、吹奏楽班招聘費用などに使用した。

第2号議案：2023年度決算報告（案）（2023年4月1日～2024年3月31日）

一般会計

単位:円

収入の部			
科目	予算	決算	差額
前期繰越金	2,046,792	2,046,792	0
総会費収入	1,750,000	1,727,691	-22,309
会報広告料	950,000	870,000	-80,000
年会費収入	2,500,000	2,542,000	42,000
会議費収入	950,000	924,221	-25,779
寄付金収入	650,000	669,500	19,500
雑収入	0	0	0
受取利息収入	0	10	10
基金より繰入	300,000	300,000	0
(小計)	7,100,000	7,033,422	-66,578
合計	9,146,792	9,080,214	-66,578

支出の部			
科目	予算	決算	差額
総会費	2,000,000	2,123,735	123,735
会報費	2,450,000	2,489,651	39,651
交通費	170,000	160,685	-9,315
通信費	40,000	44,292	4,292
会議費	1,100,000	1,338,162	238,162
渉外費	150,000	166,875	16,875
印刷費	20,000	5,738	-14,262
事務費	700,000	749,905	49,905
雑費	120,000	171,604	51,604
委員会推進費	50,000	32,070	-17,930
基金活用事業費	300,000	300,000	0
(小計)	7,100,000	7,582,717	482,717
次期繰越金	2,046,792	1,497,497	-549,295
合計	9,146,792	9,080,214	-66,578

運営基金

単位:円

科目	前期繰越	当期収入	当期支出	期末残高
運営基金	9,752,863	0	300,000	9,452,863
同利息	0	74	0	74
合計	9,752,863	74	300,000	9,452,937

運営基金・一般会計総括表（2024年3月31日現在）

単位:円

科目	金額	科目	金額
定期預金(スーパー定期)	9,292,973	運営基金	9,452,937
普通預金	159,964		
郵便振替口座	673,662	次期繰越金	1,308,529
普通預金(口座振替用)	601,967		
現金	32,900		
合計	10,761,466		10,761,466

(注) クレジットカードによる年会費収入等の3月中支払い分188,968円は3月31日現在未収入金として処理しています

- ・年会費収入は予算を上回った。
- ・寄付金収入は予算を上回った。
- ・会議費・総会費は新年会費・総会費の増加により、予算を上回った。
- ・基金活用事業費は総会アトラクションで予算通り。
- ・支出計758万で単年度としては55万の赤字、繰り越しは150万となった。
総会は基金活用事業費を除いても、40万円の赤字。新年会は11万円の赤字。
- ・年会費納入キャンペーンは12月半ばから取り組み、2月から期を広げて69期から120期で取り組んだ。
計70人から41万円を納入いただいた。

第3号議案：2023年度監査報告（2023年4月1日～2024年3月31日）

2023年度決算報告を詳細に監査した結果、適法且つ正確であることを認める。

2024年4月11日

監事 古畑 克巳(69期)、関 雄二(72期)

第4号議案：2024年度会務計画（案）（2024年4月1日～2025年3月31日）

1. 第63回総会・講演会・懇親会
6月29日（土）如水会館にて開催予定。実行委員は76期、81期が中心。
2. 2025年新年会
1月18日（土）喜山倶楽部（日本教育会館）にて開催予定。
3. 諸活動
 - ・ゴルフコンペを4月と10月に開催予定。
 - ・赤松小三郎研究会の講演会を11月に開催予定。
4. 会報
5月下旬に第108号、12月下旬に第109号を発行予定。
5. 基金活用事業
300,000円繰り入れ、第63回総会へのアトラクション費用、年会費納入促進活動、新年会アトラクション費用に活用予定。

第5号議案：2024年度予算（案）（2024年4月1日～2025年3月31日）

収入の部			
科目	2024年度予算	2023年度決算	差額
前期繰越金	1,497,497	2,046,792	-549,295
総会費収入	1,800,000	1,727,691	72,309
会報広告料	900,000	870,000	30,000
年会費収入	2,600,000	2,542,000	58,000
新年会費収入	580,000	541,000	39,000
会議費収入	410,000	383,221	26,779
寄付金収入	700,000	669,500	30,500
雑収入	0	0	0
受取利息収入	10	10	0
基金より繰入	300,000	300,000	0
(小計)	7,290,010	7,033,422	256,588
合計	8,787,507	9,080,214	-292,707

支出の部			
科目	2024年度予算	2023年度決算	差額
総会費	2,070,000	2,123,735	-53,735
会報費	2,450,000	2,489,651	-39,651
交通費	160,000	160,685	-685
通信費	40,000	44,292	-4,292
新年会費	530,000	652,791	-122,791
会議費	640,000	685,371	-45,371
渉外費	155,000	166,875	-11,875
印刷費	5,000	5,738	-738
事務費	750,000	749,905	95
雑費	160,000	171,604	-11,604
委員会推進費	30,000	32,070	-2,070
基金活用事業費	300,000	300,000	0
(小計)	7,290,000	7,582,717	-292,717
次期繰越金	1,497,507	1,497,497	10
合計	8,787,507	9,080,214	-292,707

(注) これまでの会議費収入・会議費を新年会費収入と会議費収入・新年会費と会議費に分けて表示しました

運営基金

単位:円

科目	前期繰越	当期収入	当期支出	期末残高
運営基金	9,452,937	0	300,000	9,152,937
同利息	0	70	0	70
合計	9,452,937	70	300,000	9,153,007

2024年度予算の基本的な考え方

【収入】

1. 総会費収入：幹事期の動員強化により、2023年度比増加とした。
2. 会報広告料：新規広告主の獲得を見込む。
3. 年会費収入：各卒業期の納付状況を踏まえたキャンペーン強化により、2023年度比若干増額とした。
4. 新年会費収入：参加者の増加を想定して2023年度比増加とした。
5. 会議費収入：総会反省会・忘年会を実費で行い収入を増やすことで2023年度比増額とした。
6. 寄付金収入：総会・新年会時の寄付の呼びかけ強化で、2023年度比若干増加とした。
7. 基金より繰入：上限の300千円とした。

【支出】

1. 総会費：飲料費削減により2023年度比減少とした。
2. 会報費：会報配布電子化の対象者増加により、2023年度比若干削減の見込みとした。
3. 新年会費：飲料費削減により2023年度比減少とした。
4. 会議費：リモート会議の活用、会場変更による会場費削減により2023年度比減少とした。
5. 渉外費：2023年度並みの本部・支部会議等の参加を見込むものの、祝儀等の削減を見込んだ。
6. 基金活用事業費：総会・新年会での演者謝礼等の見込みとした。

相談役・顧問 名簿

2024年4月1日現在

役 職	氏 名	期
相談役	壺 滋	50
〃	石井 光春	54
〃	前田 喜美子	54
〃	滝澤 進	61
〃	高梨 奉男	62
〃	上原 昇	65
〃	近藤 正昭	69
顧 問	倉沢 裕	69

役員 名簿

2024年4月1日現在

役職	氏名	期
会長	矢島 基美	72
副会長	関 博明	72
”	橋詰 富博	73
”	掛川 治男	73
”	荻原 貴	79
”	石黒 久仁子	80
幹事長	平林 一央	75
会計長	長坂 武見	72
副会計長	佐藤 一男	77
編集長	中村 和久	75

役職	氏名	期
副幹事長	荻原 久俊	74
”	金井 一正	76
”	鶴澤 省一	76
”	竹花 真理子	78
”	渡邊 博	78
”	鈴木 巳季	80
”	山崎 まゆみ	80
”	横関 正人	81
”	重藤 知夫	83
”	五十嵐 恵子	83
”	小山 勇	92
”	阪下 千恵	93
”	金井 信幸	95
監事	古畑 克巳	69
”	関 雄二	72

期代表幹事 名簿

2024年4月1日現在

期	氏名	期	氏名	期	氏名
43	佐々木 三夫	68	土屋 耕太郎	82	重藤 和夫
45	山邊 力	69	小泉 薫		清水 るりこ
46	丸山 浩一		三塚 隆		古谷 由美子
50	五十嵐 明迪	70	依田 隆文	83	五十嵐 恵子
53	須田 武久		丸山 清光		尾添 静子
54	倉島 彰		佐藤 秀紀	竹内 延彦	
	藤村 延魚	71	小林 秀一	84	長尾 健
55	宮島 光男	72	関 博明	85	小須田 武志
56	成田 邦夫		関 雄二	86	吉池 有司
58	北村 尚巳		渡邊 温子	87	永井 博
59	有賀 勝雄	73	掛川 治男		西澤 信司
	櫻井 資悦		土屋 元一	88	高星 音楽
60	沓掛 行徳	74	土屋 三千夫		戸堀 真澄
61	三井 文人		林 幸平	89	小林 幸治
	沓掛 忠	75	一之瀬 康利	92	小山 勇
62	岩井 重一		大工原 潤	95	小宮山 和匡
	栗山 正雄		平林 一央	97	依田 久美子
63	諸岡 健児	76	鴫澤 省一		石森 博行
	川村 恭司		金井 一正	98	宮沢 征史郎
	大塚 和弘	77	丸山 剛生	99	中嶋 豪
藤川 昇	佐藤一男		矢島 好太郎		
64	小松 正佳	78	渡邊 博		永井 洋平
	村居 次雄	79	荻原 貴	100	矢島 志織
65	上原 昇		戸田 由香	103	大谷 真宙
	丸山 暢久	五十嵐 剛	竹村 淳一		
	宮原 豊	80	長谷川 剛	104	有賀 創
66	塩野崎 英二		櫻井 規喜		石川 翔太
	田口 博	81	服部 みどり	高山 大蔵	
67	渡邊 信幸		横関 正人	115	小林 公哉
		116	今井 裕太		

講演会の案内

演題：「激動の内外エネルギー情勢をどう見るか」

(講師より)

エネルギーは私たちの暮らしや経済を支えるために必要不可欠な重要物資です。日本はそのエネルギーのほとんどを海外から輸入しており、世界のエネルギー情勢次第で安定的で手頃な値段での供給確保が脅かされる状況にあります。2022年に発生したウクライナへのロシアの軍事侵攻や最近の中東情勢などによってエネルギーは激動に晒されてきました。また、エネルギーの利用によって地球気温の上昇が進むなど、気候変動問題への関心も高まっています。こうした中で、日本はどのようなエネルギー政策をとるべきなのか、一緒に考えてみたいと思います。

講師：小山 堅さん (76期)



プロフィール

上田三中出身。高校時代は軟式庭球部所属。1986年早稲田大学大学院経済学研究科修了。同年日本エネルギー経済研究所入所、2020年同研究所専務理事・首席研究員(現職)。2001年英国ダンディ大学博士号取得。東京大学公共政策大学院客員教授および東京工業大学科学技術創成研究院特任教授。2023年OPEC賞(OPEC Award for Research)受賞。「エネルギーの地政学」(朝日新聞出版、2022年)、「地政学から読み解く! 戦略物資の未来地図」(あさ出版、2023年)など著書多数。

上田高等学校 校歌・応援歌

校 歌

上田中学国漢科作詞
岡野貞一作曲

1. 秋玲瓏の空衝きて
ゆふべ太郎の嶺高し
春縹渺の末けむる
あした千曲の水長し
2. 関八州の精鋭を
ここに挫きし英雄の
義心のあとは今もなほ
松尾が丘の花と咲く
3. 古城の門をいで入りて
不動の心山に見る
我に至高の望あり
挙世の浮華に迷はむや
4. とうとき霊血に承けて
不断の訓川に汲む
我に至剛の誇りあり
いざ百難に試みむ

応援歌 No. 3

町田太郎作詞作曲

1. 伝統の花れうらんと
松尾が丘は時じくの
春を誇れりいざやいざ
凱歌を挙げて地軸をうたん
上田、上田、上田、上田
勝利の上田
2. ああ堂々の陣を張る
信濃の勇者我が上田
打てよ走れよ虹を呼べ
真田の血潮伝統に燃ゆ
上田、上田、上田、上田
勝利の上田

凱 歌

吉村武生作詞

1. 夕陽千曲の水の面に
映えたる血潮輝きて
躍るや絶えぬ歎びの
流れにひびく陣太の音
聞けや胸血のたぎる聲
誉のかぶと我得たり
2. 黙示の色に溢れたる
浅間の峰の空高く
五色の旗のたなびきて
夕陽の四方を覆ふとき
見ずや誉のこの旗を
永く我が手に保たなむ



あだちブルワリーのクラフトビール

76期 宮原武志氏が手掛ける足立区のブルワリーから、乾杯用にビールをご提供いただきましたので、お楽しみください。



adachi_brewery Instagram

上田高等学校関東同窓会